

青梅防犯協会だより

2020.8.1

青梅防犯協会

TEL・FAX 0428(23)8505

世界中が新型コロナウイルスの猛威にさらされ、東京でも毎日多数の感染者が報道されています。感染拡大を防ぐため、マスクの着用、不要不急の外出や大人数の集会自粛など、国や東京都から様々な要請が出されている中、青梅防犯協会でも、警視庁・東京防犯協会連合会から同様の要請が出されて、3月からの行事や会議もすべて**中止**になりました。

このため、青梅市納涼花火大会に合わせて青梅駅前で実施する防犯標語入り竹うちわの配布、産業観光まつり会場で好評の青梅防犯協会グッズが当たる抽選会なども**取りやめる**こととなりました。(下は去年の写真)



JR 青梅駅前



産観祭り 会場

また、地域（JR青梅駅前、産観祭り会場）の夏祭り、運動会など夏から秋にかけての行事も中止になった地域が多いようです。

毎年10月11日～20日まで行われる「全国地域安全運動」は、運動に先がけ「青梅・奥多摩防犯のつどい」を開催し、多数の皆様（青梅市、奥多摩市、青梅防犯協会、青梅防犯協会連合会）に防犯啓発とお楽しみをお届けしていましたが、今年はやむを得ず**中止**といたしました。

(右は去年の「防犯のつどい」)

例年安全運動期間中は、青梅防犯協会役員、協会女性部、自治会など皆様のご協力により、JR駅前やスーパーマーケット店頭で、振り込め詐欺被害防止などのチラシを配布し、防犯キャンペーンを実施しましたが、今年は期間中、防犯パトロールをメインとして、次の要領で実施



することといたしましたので関係者皆様のご協力をお願いします。

実施要領

10月11日～20日の「全国地域安全運動」期間中

① 支会・自治会による地域ごとの防犯パトロール

- ・ 役員所有車両を借用し、防犯マグネットシートを付けて、日時を決め主に地域内をパトロールする（1台に2～4名乗車）

② 自治会以外の役員による、青パトを利用した防犯パトロール

- ・ 10日間の期間中、2人から4人のグループで青パトに乗り、市内をパトロールする
- ・ 日時、乗車組み合わせは、別に用意する予定表（案）をもとに決定

【トピックス】

青梅防犯協会は、今年度東京防犯協会連合会より、「防犯モデル地区」の指定・助成を受けました。これは、都内10防犯協会を指定し、それぞれの地区で各種防犯活動を検討し、実効の上がるような施策に助成するものです。

協会では、一つは「懸垂幕」を新調して、免許更新事務所前の掲揚塔に掲げてある古い懸垂幕と交換することと、二つ目は、子供の安全を守る「のぼり旗」462本を地区に配布することにしました。（署に来られた時にご覧ください）

「のぼり旗」は、自治会のご協力をいただき、地区の効果的な場所へ掲示をお願いしたところです。奥多摩町には、40本を配布しました。



「懸垂幕」



「のぼり旗」

